



## Contents

受験生のみなさんへ	1	キャンパスライフ	8
医学部保健学科	2	卒業生の進路(令和2年度)	9
教育理念・目的及び教育目標	2	学位・受験資格等	9
教育課程	2	入試情報	9
教育の概要	3	医学系研究科保健学専攻	10
・看護学専攻		受験生へのメッセージ	10
・検査技術科学専攻		教育の理念と目標	11
看護・医療技術・研究の国際化を目指して	4	教育の概要	11
・英語を母国語とする教員(Native English Speakers)		・看護学領域	
による専門教育と国際学術集会		・生体情報検査学領域	
・国際交流校との合同研修や共同研究		特別研究分野と主研究テーマ	12
・国際誌「Nursing and Health Sciences」		・看護学領域	
の編集・刊行		・生体情報検査学領域	
・国際共同研究の実施・国際会議参加・		在学生からのメッセージ	12
国際シンポジウムの開催		・看護学領域	
・Sigma(Sigma Theta Tau International)		在学生からのメッセージ	13
Tau Nu Chapterの活動		・生体情報検査学領域	
在学生からのメッセージ	6	入試情報	13
・看護学専攻		・受験方法	
・検査技術科学専攻		・入学者選抜方法	
		・学生募集要項の請求方法	
		・請求・お問い合わせ先	

## 受験生のみなさんへ

山口大学医学部保健学科には、看護学専攻と検査技術科学専攻の2つの専攻があります。本学科は、平成12年10月に設置され、平成13年4月に第1期生が入学しました。平成16年度末に最初の卒業生を送り出し、引き続き、平成17年度には、保健学科を基礎とする大学院医学系研究科保健学専攻が設置され、平成21年度末に博士後期課程の最初の修了者を輩出し、本専攻が制度的に完成しました。すでに保健学科設置から21年、大学院の保健学専攻設置から16年が経過し、多くの卒業生や修了生が社会に羽ばたいています。

本学科に入学した1年次は、山口市の吉田キャンパスで、他学部の学生と一緒に、一般教養および語学を中心とした共通教育の授業を受けます。さらにサークル活動やアルバイト等を通じて、他学部や医学部医学科の学生との交流を深めることも可能です。この時から、山口大学の理念である「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」をモットーに、人間力とバイタリティーあふれる人材の育成を目指した教育を行っています。2年次からは宇部市の小串キャンパスで、専門教育の講義・実習が本格的に始まり、忙しくも充実した毎日を送ることになります。

本学科では、看護学専攻は卒業時に看護師および保健師、検査技術科学専攻は臨床検査技師の国家試験受験資格が得られ、国家試験の合格率は毎年ほぼ100%の実績があります。さらに、看護学専攻では助産師、検査技術科学専攻では細胞検査士、健康食品管理士などの受験資格が得られる選択コースを設けています。また、本学科の特色として、4つの国際化プロジェクトを実践しています。1つ目は、外国人の専任教員による医療英語や基礎医療英会話、国際看護学の授業です。2つ目は、わが国唯一の看護・健康科学領域の国際誌 Nursing and Health Sciences の刊行です。3つ目は、看護・健康科学領域のリーダーを育成する目的で、タイのチェンマイ大学とマヒドン大学、韓国の梨花女子大学と本学の4大



保健学科長 野垣 宏

学で組織した APAHL (Asia-Pacific Alliance of Health Leaders) です。4つ目は、本学科には看護学領域で権威のある国際名誉学会 Sigma Theta Tau International (STTI) の日本で唯一の支部が平成17年11月に設置されています。医療の専門職を目指して入学する皆さんを迎えるにあたって、われわれ教職員の最大の使命は、看護学および検査技術科学に関する重要かつ高度な知識・技術を教授し、優秀な医療技術者や高度専門職業人を育成することですが、それを実現するためにわれわれは、山口大学医学部保健学科に入学した方が、山口市と宇部市で充実した学生生活を送り4年間で無事に卒業、確実に国家試験に合格したうえで、第1希望の病院や企業等に就職するという一連の過程をサポートいたします。そして、この使命をこれまで着実に果たしてまいりました。もちろん、大学院に進学した方には引き続き研究の指導を行い、修士や博士取得を目指します。

みなさんにはぜひ山口大学医学部保健学科を受験していただき、そしてわれわれの元で学び、優秀な医療人となって社会に貢献することを期待します。



医学系研究科保健学専攻(博士後期課程)  
看護学領域 生体情報検査学領域

医学系研究科保健学専攻(博士前期課程)  
看護学領域 生体情報検査学領域

医学部保健学科  
看護学専攻 検査技術科学専攻

医学部保健学科と医学系研究科保健学専攻の構成



## ■教育理念・目的及び教育目標

### 理念目的

保健・医療の分野において、真理を探究し、人類の幸福と発展に資する知識・技術を「発見し」、「はぐくみ」、「かたににする」。  
保健・医療の専門的知識と技術の教授とともに、豊かな人間性を涵養する教育を行い、今後の社会の変化に対応し得る医療技術者を養成する。

### 目標

- 保健・医療の変化に対応できる人材の育成
- 保健・医療チームの一員として活躍できる人材の育成
- 保健・医療の学問体系の確立に貢献できる人材の育成
- 保健・医療の国際化に対応できる人材の育成
- 地域保健及び地域医療の向上に貢献できる人材の育成

## 教育課程



1年次

共通教育科目



2年次

専門基礎科目

専門科目

臨床実習



3年次

4年次

卒業研究発表会

教養コア系列 英語系列  形態機能学I・II・III 生化学 免疫学 病理学 微生物学 臨床薬理学 臨床栄養学 医療情報システム論 保健学	一般教養系列 専門基礎系列  人間関係論 症候ケア論 リハビリテーション学 医療環境論1・2 医学のための統計学 医療英語 基礎医療英会話 他
<b>■看護学専攻</b> 看護学概論I・II 看護過程論 成人看護学I・II 精神看護学 小児看護学 母性看護学 老年看護学 在宅看護学 公衆衛生看護活動論 国際看護学 看護リーダーシップ論 他	臨床アセスメント学 緩和ケア論 クリティカルケア看護学 救急看護学 リエゾン精神看護学 保健統計学 保健福祉行政論 遺伝看護学 助産学 周産期看護学 看護学卒業研究I・II 他
<b>■検査技術科学専攻</b> 医療工学 情報科学 分子生物学 発生遺伝学 病理検査学 微生物検査学 医動物学 細胞診断学講義 細胞診断学演習 病態生化学	免疫検査学 呼吸循環機能検査学 神経・感覚機能検査学 画像検査学 血液検査学 臨床医学 臨床病理学 検査管理学 医療安全管理学 検査技術科学卒業研究 他

## ■教育の概要

### 看護学専攻



健康で安心して暮らせる社会の実現はすべての人々の願いです。あらゆる健康レベルの人々のケアに携わる看護職には、保健・医療・福祉における幅広い領域での活躍が社会から期待されています。その期待に応えるために、看護学専攻では看護職者が科学的な根拠に基づいた適切な判断と問題解決ができる能力、柔軟な思考力、国際的視野で社会情勢の変化や医療の発展に対応できる能力などを育成します。ライフサイクル

や生活場所に対応した、各看護学や在宅看護学、公衆衛生看護学に加え、救急看護学、高度先進医療看護学、遺伝看護学、国際看護学など次々に先駆けたカリキュラムを準備し、学生全員が看護師と保健師の国家試験を受験することができます。高度な専門知識・技術の習得と共に豊かな感受性、創造性、向上心を養い、看護実践・教育・研究の場で活躍できる資質の高い看護職を育てることを目標とし、一流の看護学研究者がレベルの高い教育環境を整えています。



### 検査技術科学専攻



現代医学は病気を正確に診断するために血液検査だけでなく、超音波やCT検査から細胞診まで、高度な臨床検査が用いられます。正しく診断されて初めて有効な治療が行えます。このため、精度が高くかつ特異性の高い検査法の開発と普及が要求されます。本検査技術科学専攻では、専門職に必要な知識と技術を習得し、エビデンスに基づく適切な判断と解決能力を身につけ、国際的な発展を遂げている医療分野に対応でき

る英語能力を養うためのカリキュラムを準備しています。卒業後の進路は病院の検査室が主ですが、製薬会社や生命科学関連の研究所、試薬や機器メーカー、検査センターなど多方面に開かれています。また、本専攻の特徴は、細胞検査士や健康食品管理士の教育指定校として受験資格が得られることです。細胞検査士は「がんの早期発見」に大きな貢献をしています。健康食品管理士は、食品の選択や安全性を判断し食品管理を通して健康に寄与する新しい資格です。



## ■看護・医療技術・研究の国際化を目指して

現在、我が国の大学が国際社会から問われている最も重要な課題の一つは、世界水準の教育・研究活動を行うという点です。この点に関して、本学は、アジア太平洋地域の大学間提携における学部・院生の交流を通じた多文化の理解や、リーダーシップの育成に努めています。また教員においても、国際共同研究や学術集会、さらには本学が事務局となって看護・健康科学の国際誌を発刊するなど、保健学の教育機関では全国的にも先駆的な取り組みを行っています。これらさまざまなプログラムによって、世界水準の教育・研究機関を目指して努力を重ねており、医療の国際化に対応できる医療人の育成を目指しています。

### 英語を母国語とする教員(Native English Speakers)による専門教育と国際学術集会

本学は、保健学科設置以来、看護・医療技術の教育・研究を国際的な水準で展開することの必要性を強調してきました。英語を母国語とする本学の教員による「医療英語」、「基礎医療英会話」、「国際看護学」などの科目の設置、さらには海外の先端医療事情の紹介や英語による授業など、学生の皆さんに医療の知識を英語で表現することにより、論理的かつ正確に理解できることのすばらしさを十分知ってもらうための機会を多数用意してきました。

その他、諸外国の大学や研究機関を訪問し、大学間にお

ける共同研究に参加した本学教員との交流、また海外から訪れる研究者による特別講義の企画など、学生の皆さんがあらゆる機会を通して英語に触れられるようにしています。したがって、英語を母国語とする教員や海外経験の豊かな教員とともに学べる環境の中で、卒業するまでに、学生の皆さんの英語力と国際感覚(多文化の理解なども)が著しく向上するものと確信しています。

### 国際交流校との合同研修や共同研究

本学は、看護・健康科学領域のリーダーを育成する目的で、梨花女子大学(韓国)、チェンマイ大学(タイ)、マヒドン大学(タイ)、および山口大学とで、APAHL(Asia-Pacific Alliance of Health Leaders、通称:エイパール)を組織し、緊密な連携を行っています。2005年の発足以降、毎年各校が輪番で学術・交流フォーラムを開催しており、毎年本学科から学生10名と教員数名が参加して交流を行ってきました。因みに、本学が開催校となったのは、2006年、2009年、2014年の3回ですが、2020年には第4回目の本学開

催が決定しています。これまでの加盟校に加え、新たな大学がAPAHLへの参加交流を表明するなど、APAHLを通じた国際交流のさらなる充実や発展が期待されています。

一方、2012年より交流校における短期研修や共同研究が開始されるとともに、院生の海外留学、海外からの留学生(学部、大学院)受け入れも年次的に進んでいます。こうした取り組みや活動により、国際性を備えた自立した高度な専門職業人の養成、英語環境の整備が着実に進みつつあります。



2019年APAHL(タイ マヒドン大学)

### 国際誌「Nursing and Health Sciences」の編集・刊行



NHS表紙

Nursing and Health Sciencesは、わが国初の看護・健康科学領域の国際誌です。本学に編集事務局を置き、英語を母国語とする歴代の専任教員が編集長を務め、国際的な編集陣により編集・出版されています。1999年に第1巻が発刊され(年4回)、最近では国内外で高い評価を受け、国際

語としての英語を介した看護・健康科学領域の研究発展に寄与しています。世界のさまざまな国からの投稿があり、その数は年間約1,000論文に登ります。また、掲載された論文が学術雑誌の文献引用影響率を示すインパクトファクターは2021年6月現在で1.269となっています。2015年からはオンライン・ジャーナルとなり、掲載された論文はIndex MedicusやMEDLINEといった国際的な医療系学術雑誌データベースを通じて全世界の研究者から引用されています。皆さんも是非、インターネットでアクセスしてみてください。

<http://wileyonlinelibrary.com/journal/NHS>

### 国際共同研究の実施・国際会議参加・国際シンポジウムの開催

国際的にアカデミックな取り組み、いわゆる国際共同研究を積極的に進めています。国際交流校の研究者との共同研究、さらに本校に研究者を受け入れて共同研究をしています。また、海外からの研究者を招聘

し、講演会やシンポジウムを開催しています。学生の皆さんは、教員と共に国際的視点から最新の情報を得たり、ディスカッションしたりする機会があり、恵まれた環境にあるといえるでしょう。

### Sigma(Sigma Theta Tau International)Tau Nu Chapterの活動

Sigmaとは、1922年に米国インディアナポリスで創設された看護国際名誉学会(Honor Society of Nursing, Sigma Theta Tau International)であり、看護領域ではICN(国際看護師協会)に次いで2番目に大きな組織です。世界の100か国以上に渡って約540の支部があり、13.5万人以上の看護師が活動しています。看護の科学的基礎を高め、世界中の人々の健康を促進することを使命とし、臨床・教育・研究においてリーダーシップを発揮できる人材育成を行っています。本学は、2005年に本邦初の支部として認可され、2006年に、「Tau Nu Chapter」として設立されました。国内

外の専門家を招いて、アカデミックミーティング(教育講演会)を年間2~3回開催しております。入会にあたって、ナース・リーダーとして活躍している業績が求められますが、本学学生の場合、優秀な成績を修めた学生は卒業時に入会することができ、国際的に協働する看護職としての第一歩になります。現在、約130名の会員で構成されています。2020年度の入会式・講演会では、オンラインによる海外からの講演をキャンパスでの入会式に出席した新規会員、および国内会員が会して視聴をしました。



Sigma, Tau Nu Chapter(支部)入会式

## 在学生からのメッセージ

### 看護学専攻

山口大学では、一年次は山口市の吉田キャンパスで過ごします。ここでは、経済学や哲学、社会学などの教養を身につける共通教育の科目がほとんどですが、他学部との授業が多いので医学部生以外の学生との交流ができます。また、授業の一環で、実際に解剖された御献体を観察することができます。この経験は自分の知識の幅を広げ、人体構造の理解を深めることができました。二年次からは宇部の小串キャンパスで本格的に看護についての学習が始まります。ナース服をきて演習をする授業もあります。スケジュールは一年次に比べてハードですが、周りの仲間と切磋琢磨しあい、日々の課題に取り組んでいます。

私は医学部陸上部に所属しています。陸上部には信頼、尊敬できる先輩や同期がいます。おかげで充実した活動を行うことができます。また、看護学専攻の人だけでなく、検査技術学専攻や医学部の学生とのつながりが生まれます。

現在、新型コロナウイルスの影響でさまざまな活動が制限されています。その環境下での大学生活を送ることは大変ですが私たちができることを日々模索し多くの経験や体験をすることができています。

山口大学では看護師、保健師、助産師(選抜制)の資格を取ることができます。それぞれが目標を持ち、それに向かって頑張っている姿は自分自身にとってとても刺激になります。

本校での学びは、将来の可能性を大いに広げることができます。皆さんも、この山口大学で私たちと一緒に学んでみませんか。



2年 松尾 怜花



3年 青木 遥奈

山口大学では、1年次に山口市にある吉田キャンパスで他学部の学生と共通教育を学び、幅広い教養を身につけることができます。時間的に余裕のある1年次は、アルバイトやサークル活動を通して、多くの人との交流ができ、看護師に必要な価値観を広げることできます。2年次からは宇部市にある小串キャンパスで専門教育を学び、看護についての知識や技術を身につけていきます。

私は高校2年生のときに山口大学のオープンキャンパスに参加し、設備の整った付属病院で実習を行えることや、保健学科では珍しい解剖実習があることを知り、入学を決めました。解剖実習があることで、看護に必要な不可欠な人体の知識を、教科書だけでは分からない部分まで知ることができ、疾患についての理解も深めやすくなっています。病院実習では、実際に患者さんとコミュニケーションをとったり、ケアを行ったりします。看護の難しさを感じることもありますが、夢に近づいていることを実感しています。忙しくも毎日充実した大学生活で、山口大学に入学してよかったと心から思っています。

また、山口大学は、全員が看護師、保健師両方の国家試験受験資格を得られる、全国的にも数少ない統合カリキュラムが組まれています。養護教諭の資格や女子は希望すれば助産師の資格を取ることできます。卒業後の進路が幅広くなることも山口大学の魅力だと思います。

ぜひ受験生の皆さんもこの恵まれた環境で学び、私たちと一緒に夢を実現してみませんか。

4年生では、病院実習・卒業研究・就職活動を主体としていきます。

3・4年の実習は、実際に患者さんを受け持たせていただき、看護師さんから直接の指導のもと、看護過程を展開したり、技術を提供させていただいたりします。臨床での実習はやはり緊張感があり悩むこともたくさんありますが、先生方を始め、たくさんの方に支えられとても充実したものとなりました。4年生の病院実習では、1～3年生で学んだ基本的な技術・知識に加え、より専門的な分野の実習をしていくので自分の興味のある分野について実践を通しさらに深く学習することができます。4年生では就職活動をやる傍ら、3か月間に及ぶ病院実習もやっていくのでなから手を付けていけばいいのかわからない状態ですが、同じ看護学科の仲間や先生方にサポートがあるおかげで毎日頑張っています。山口大学はキャリア・実習・普通の学習などのサポート体制が整っていると感じます。

山口大学の魅力だと私が一番感じるのは、看護師・保健師に加え、選抜試験に合格すると助産師の国家資格が4年の間に取得できるカリキュラムが組まれていることです。助産師を志望している人にとってはもちろん、入学前にどの職種にしようか迷っている人も4年間の講義や実習を通して大学中でも自分のキャリアが描けるのでとても魅力的だと思います!

ぜひ山口大学に入学し、たくさんのことを吸収し、理想の看護師像を目指してみませんか?



4年 田上 果歩

### 検査技術科学専攻

入学してからの一年間は、本学である山口市の吉田キャンパスで過ごします。共通教育という一般教養をメインに学びますが、顕微鏡で細胞を診たり、体の構造を学んだり、専門的かつ実践的な内容にも触れることができます。また、山口大学には検査専攻にとっては珍しく解剖実習があり、実際に臓器や構造を見たり触れたりすることができ、他大学では経験できない学びを多く得ることができます。私生活については、比較的時間に余裕のある一年生の間に、旅行やアルバイトなどの経験・思い出作りをする事をお勧めします。

二年生になると、宇部市にある小串キャンパスに移動します。授業は、一年生で学んだことをさらに深め、さらに新しい分野にも学びを広げていきます。毎日1限から5限まであり、内容も100%医学や検査技術に直結する事なので、正直とても大変です。しかし、先生たちは皆丁寧に教えてくれて、質問をすれば分かるまでサポートしてくれます。また、宇部は吉田よりも都会で、少し足を延ばせば遊園地やショッピング、カフェなどがあり、一人でも、友人とも楽しむことができます。

入学してから何かと忙しい検査専攻ですが、山口大学は日本初の臨床検査技師学校としての歴史を誇っており、検査技師となるのにこれ以上ない最高の環境が整っています。大学は高校までとは違い、どれだけ自分が能動的に行動するかで充実性が変わってくると思います。勉学に励みつつ、時には友人らと遊び、一緒に高め合いながら、最高の臨床検査技師を目指していきましょう!



2年 石尾 麻祐



3年 中山 翔護

山口大学での学生生活もあっという間に半分が過ぎ、進路について真剣に考えなければならぬ学年になりました。二年生から医学部生のみが在籍する宇部市の小串キャンパスに移り、専門的な講義や実習が始まります。はじめは実習や専門的な授業に慣れるのに大変ですが、熱心に教えてくださる先生方や互いに高めあえる友達のおかげで充実した日々を過ごしています。

また山口大学は、臨床検査技師の国家試験合格率が毎年ほぼ100%の実績があり、さらに全国の大学でも数少ない細胞検査士の資格が所得できる細胞診コースが設置されていてレベルの高い講義を受講することができます。このほかにも健康食品管理士の資格など様々な資格所得のためのサポートも充実していて、臨床検査技師としてより深い知識や技術を習得できる環境が整えられていると実感しています。

さらに、学業だけでなく部活動も活発で、新型コロナウイルスの感染対策を徹底したうえで活動を行っており学科を超えた交流を行うことができます。

皆さんもぜひ山口大学で、専門的な知識を身につけながら楽しく充実したキャンパスライフを送ってみませんか?

私の大学生としての最終学年となりました。3年生までは、検査技師になるための座学や学内での実習などが中心でしたが、4年生になり、これまで学んできた知識を基に、卒業研究や病院実習に取り掛かっています。卒業研究においてはスムーズに進まないこともありますが、試行錯誤を繰り返して、最終的に結果が得られたときは、喜びとやりがいも溢れています。そして、病院実習は、隣接する附属病院で各部門の仕事の間近で見たり、実際に体験したりしながら学ぶことができます。自分の興味がある分野の勉強や研究に夢中で取り組める環境で、忙しくも充実した日々を過ごしています。

また、この卒業研究や病院実習の間にも、国家試験や卒業試験の勉強、就職活動や大学院入学試験に励むこととなります。それぞれに異なる対策や学習が必要となり、はじめは何から取り組めばよいか分からず、不安に感じることもあるかもしれませんが、検査専攻の先生方は、生徒に寄り添い、具体的なアドバイスをくださり、私たちがすべきことに集中できる環境を整えてくださっています。

検査専攻の人数は約40人で、高校までのクラスのように、友人と支え合いながら勉学に励んでいます。また、勉学以外にも部活動、医学祭などのイベント、APHALのような国際交流の機会など、楽しい学生生活を送ることができます。

受験生の皆さんもぜひ、この山口大学で臨床検査技師を目指し、充実したキャンパスライフを送ってみませんか?



4年 石井 祐衣

■キャンパスライフ



フレッシュマンセミナー



特別講義

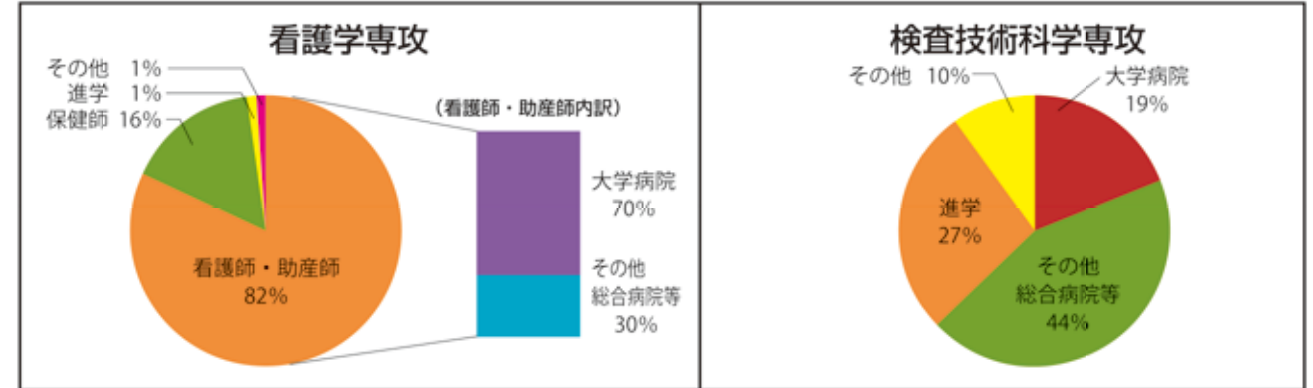


国際交流



卒業式

■卒業生の進路（令和2年度）



■学位・受験資格等

	看護学専攻	検査技術科学専攻	備考
入学定員	80名	40名	
卒業により得られる学位	学士(看護学)	学士(保健学)	
国家試験受験資格	看護師 保健師 助産師 ※1	臨床検査技師	※1 所定の単位(選択科目)を修得した場合に得られます。(人数制限あり、女子対象)
認定試験受験資格		細胞検査士 ※2 健康食品管理士 ※2	※2 所定の単位(選択科目)を修得した場合に得られます。
その他在学中に受験できる資格試験		医療情報技師 毒物劇物取扱責任者 バイオ技術者(上級・中級) ※3 第2種ME技術者	※3 「試験会場校」
申請により得られる免許	養護教諭二種免許 ※4 第一種衛生管理者 ※5		※4 所定の単位を修得し、保健師の国家試験に合格すれば、申請により得られます。 ※5 保健師の国家試験に合格すれば、申請により得られます。

■入試情報

山口大学医学部保健学科では、一般選抜(前期日程・後期日程)、学校推薦型選抜、帰国生徒入試、社会人入試、私費外国人留学生入試など様々な入試を実施していますが、これらの入試はすべてインターネットによる出願となります。各入試の内容や出願方法等については、山口大学ホームページ(入試関連情報)でご確認ください。

また、募集人員、個別学力検査の実施期日、その他必要な事項を記載した学生募集要項(PDF)についても、山口大学ホームページ(入試関連情報)に掲載される予定です。

入試に関するお問合わせ先

- 山口大学 入試課  
〒753-8511 山口市吉田1677-1 TEL083-933-5153  
山口大学ホームページ(入試関連情報)URL  
<http://nyushi.arc.yamaguchi-u.ac.jp/>
- 山口大学 医学部 保健学科入試担当係(学務課 保健学科教務係)  
〒755-8505 宇部市南小串1-1-1 Tel. 0836-22-2134  
保健学科ホームページURL  
[http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/health\\_sciences/](http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/health_sciences/)



- JR宇部線宇部新川駅下車、徒歩約10分
- 宇部中央バス停下車、徒歩約10分
- 山口宇部空港から車で約15分

## 受験生へのメッセージ

### 看護学領域



看護学領域長  
山勢 博彰

保健学専攻の博士前期課程の看護学領域には、基礎・地域看護学と臨床看護学の2分野があり、教育研究に取り組んでいます。また、急性・重症患者看護とがん看護の専門看護師コースの履修もできます。大学院生が看護実践の中で捉えた問題意識や関心事を中心に、特論・演習や実習を通して高度な看護を学び思考を養います。そして、看護学の研究能力を身につけ、その成果としての修士論文をま

めます。

博士後期課程では、基礎看護学、地域保健看護学、高度侵襲医療看護学、母子発達・遺伝看護学、老年生活機能看護学の分野があります。大学院生のこれまでの研究活動を基礎として、博士論文となる研究を進めていきます。構想発表会や中間発表会などでは、多くの教員の前でプレゼンテーションを行い、専門的、多

面的な助言を受けることができます。また、「生体情報検査学領域」の大学院生と一緒に学びますので、分野の異なる院生同士の交流も有意義です。

大学院での学習は、大学院生や教員、演習や研究フィールドの専門職者との出会いの機会が多く、人的ネットワークを拡げられることも大きな魅力だと思います。ぜひ、大学院医学系研究科で看護学を究める醍醐味を実感してください。



### 生体情報検査学領域



生体情報検査学領域長  
野島 順三

近年、国立大学医学部保健学専攻では大学院の開設が進み、これまでの Medical Technician を養成する教育から、高度な専門知識と技術を兼ね備えた Medical Technologist の育成、さらには優れた研究・開発能力を持つ Medical Scientist の養成に教育の重点が移行しています。

生体情報検査学領域の博士前期課程では、臨床検査診断・病態検査・細胞解析・病原微生物・遺伝情報・生理機能・画像診断・高次神経・再生医療など幅広い研究・教育分野を設け、大学病院や企業の研究・開発部門で活躍できる「高度医療専門職」の育成に取り組んでいます。博士後期課程では、細胞情報応用学と病態情報解析学の2研究領域を開設しており、各分野のスペシャリストの教員がオムニバスで高度な専門的能力と優れた研究・開発能力を教授し、多様な臨床検査学研究を推進できる医科学者(保

健学博士)の養成を目標に掲げています。

さらに生体情報検査学領域では、全国に先駆けて、平成27年度より「再生医療・細胞療法を担う高度な医療専門職の育成コース：臨床培養士養成課程」を開設し、日本再生医療学会指定の教育機関として全国初の認定を受けました。この臨床培養士養成課程は、臨床検査技師の国家資格を取得した大学院生を対象に、教育機関である大学院医学系研究科と再生医療・細胞療法を実践する山口大学医学部附属病院、最先端の研究期間である神戸医療産業都市推進機構が連結して、日本再生医療学会の認定制度に沿った教育プログラムを実践し、次世代の医療機関として期待される再生医療・細胞療法を担う高度な医療専門職業人の育成を行っています。



## 教育の理念と目標

### 医学系研究科の教育理念と目標

1. 人間の健康増進と医学・生命科学の発展に世界的に貢献できる人材を育成する。
2. 医学・生命科学領域において時代にあった社会のニーズに対応できる専門的な知識と技術並びに豊かな人間性と高度な倫理観をそなえた人材を教育する。
3. 産学公連携に寄与することで社会に貢献できる人材を育成する。

### 保健学専攻の教育理念と目標

保健・医療の分野において、真理を探究し、人類の幸福と発展に資する高度な知識・技術を「発見し」、「はぐくみ」、「かたちにする」ことを教育理念とし、専門的知識を持った高度専門職業人及び保健・医療の学問領域における科学的発展に寄与できる教育・研究者を育成する。

## 教育の概要

### 看護学領域

人々の生活や健康問題が多様化・複雑化するに伴い、看護学が対象とする課題は非常に多くなり、より高度な知識と実践能力が求められています。本領域では、看護に対する関心や問題意識を深め、看護を発展させるための研究を進めます。また、看護の基盤となる看護理論の体系化や看護倫理など、さまざまな課題について探求し、基礎・地域看護学分野と臨床看護学分野の二つの専門領域の中で教育・研究をすすめていきます。



### 生体情報検査学領域

科学、とくに分子生物学の急速な進歩に伴って、分子・細胞レベルから組織・器官レベルにわたってさまざまな生体情報が得られるようになって来ています。本分野では生体から得られる情報を多様な視点からの確に把握分析して疾患発生の可能性や経過や予後の判定に資することのできる理論や技術を研究するとともに、新たな技術や機器の開発を目指した研究指導を行います。



## 特別研究分野と主研究テーマ

### 看護学領域

#### 基礎・地域看護学分野

- 看護理論に関する研究
- 看護基礎教育および看護継続教育に関する研究
- 看護実践能力に関する研究
- 地域看護・公衆衛生看護の方法論や理論化に関する研究
- がん予防行動のメカニズムと効果のある心理的介入
- 精神疾患及び身体疾患に付随する心理社会的問題のアセスメントと介入に関する研究
- 国際看護学および健康政策

#### 臨床看護学分野

- クリティカルケア看護に関する研究
- 急性期看護に関する研究
- がん看護に関する研究
- 慢性期病態にある人の看護に関する研究
- 終末期にある人の看護に関する研究
- メンタルヘルスに関する研究
- 精神障害者のリハビリ支援に関する研究
- 周産期を含めた女性の健康保持増進に関する研究
- 周産期から小児期にかけての看護実践に関する研究
- 乳幼児を抱えた女性の子育て支援
- 健康に問題を持つ小児とその家族の支援に関する研究
- 先天異常を持つ子どもの育児支援に関する研究
- 遺伝看護学に関する研究
- 高齢者のリハビリテーションに関する研究
- 高齢者の特性とケアに関する研究
- 在宅ケアに関する研究

### 生体情報検査学領域

- 抗リン脂質抗体症候群の鑑別診断法の確立と病態発症機序の解明
- 酸化ストレスに起因する病態発症機序の解明と未病指数の開発
- 膠芽腫における癌幹細胞の検討
- EBウイルス関連胃癌の発生機序の解明
- 造血器悪性腫瘍の新規遺伝子解析法の開発
- 細胞老化による骨髄腫瘍発症メカニズムの解明
- がん臨床試験における代替エンドポイントに対する統計的基準
- 遅発性の効果がみられるがん免疫療法における解析方法の研究
- がん臨床試験における後治療の評価方法に関する研究
- 腫瘍微小環境に関わる炎症細胞、特にマスト細胞の作用メカニズムの解明
- AA amyloidosis に関する臨床病理学的検討
- 未知の広範囲欠失によるサラセミアの正確な欠失領域の決定
- サラセミアの遺伝子異常およびその表現型の多様性に関する研究
- 心筋細胞のCaハンドリングの研究
- アルツハイマー病の新規治療法開発
- 心筋細胞肥大発生のメカニズム
- 不整脈に対する電気生理学的検討とカテーテルアブレーションに関する研究
- 心臓超音波診断法による心機能評価に関する研究
- 血管内皮機能評価法の臨床応用に関する研究
- 周産期うつ病発症のリスク因子の解明およびスクリーニング法の開発
- 環境中の薬剤耐性遺伝子の動態と遺伝子伝播の解明
- 深紫外LEDによる殺菌効果の検討
- 猫ひっかき病(バルトネラ菌による感染症)の高感度血清学的診断法の開発
- 猫ひっかき病感染予防のための猫ワクチンの開発
- 中心体関連蛋白質PCM1と疾患との関わりに関する研究
- 神経変性疾患保護因子および細胞保護因子に関する研究
- エクソソームを中心とした臓器間コミュニケーションダイナミクスの理解
- 骨格筋の老化と疾患のメカニズムの解明

## 在学生からのメッセージ

### 看護学領域

緊急度・重症度の高い患者とその家族を対象とした救急医療での経験を積む中で、救急医療の高度化・複雑化、そしてそのニーズの高まりを肌で感じました。多岐にわたる救急看護師の役割の中でも、自分にしかできないことを、より専門的に、よりアカデミックに探求したいという思いが強くなり、高度実践看護師養成コースを有し、尚且つ最先端の研究が行える本学への進学を決めました。

入学後は、論理的・批判的思考の訓練をしながら自分の考えを言語化し、志を同じくする仲間とディスカッションをすることで、切磋琢磨しています。さらにその過程を通じて新たな看護を見出すこともでき、知的好奇心が刺激される毎日です。また山口大学の魅力として、クリティカルケア領域の第一線で専門看護師としてご活躍されている先生方から直接ご講義をいただく機会が多く、臨床現場を考察しながら最先端の看護を多角的に捉えることができるので、広い視野をもって自身のキャリアプランを明確にすることもできます。このような環境で学べることに感謝し、救急看護師としてのアイデンティティを確立できるよう、まずは専門看護師免許の取得を目標に自己研鑽を継続したいと考えています。そして将来は独立した研究者としても、看護学の発展に寄与していきたいと考えています。



博士前期課程1年  
須田 果穂

## 在学生からのメッセージ

### 生体情報検査学領域

大学院生としての生活は学部生の頃とは全く異なるもので、私は日々研究や授業に取り組んでいます。学部生の時は、授業や実習が詰まっておりますとどちらかという受身な姿勢であることが多かったのですが、現在は研究活動が主体であり、進めていくためには自らが計画し行動をしていかなければなりません。論文を読んだり、先生に助言をいただいたり自分から知ろうという気持ちがなければ研究は進みません。その中で、時には困難なこともあります。先生方や研究室のみんなが相談にのってくれるのでとても心強いです。

また、私は現在、臨床培養士養成課程を受講しています。これは山口大学が日本で初めて設置した再生医療を担う専門家養成コースです。再生医療は世間の注目度も高く、今後の日本の医療に大きく役立つものだと思います。そのような分野に貢献できるような技術者となるため、講義や実習を通して専門的な知識を学んでいます。

私自身、大学4年生の時には就職するか進学するか悩みましたが、大学院での生活は充実しており、進んで良かったと思える毎日を送っています。是非、皆さんもこの山口大学大学院で一緒に学んでみませんか。



博士前期課程2年  
竹内 優佳

## 入試情報

### 受験方法

受験方法には、博士前期・後期課程ともに一般選抜、社会人特別選抜および外国人留学生特別選抜(生体情報検査学領域のみ)があります。社会人とは、医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等に勤務している研究者、教育者または技術者等をいいます。

### 入学者選抜方法

博士前期課程：一般選抜は、「小論文(英文で出題)」、「面接(研究計画書および専門科目に関する口頭試問を含む)」、および提出書類を総合して判定します。社会人特別選抜は、「小論文(英文で出題)」、「面接(研究計画書に関する口頭試問を含む)」、および提出書類を総合して判定します。外国人留学生特別選抜は、「小論文」、「面接(語学試験を含む)」および提出書類を総合して判定します。

博士後期課程：一般選抜は、「英語」、「専門分野に関わる小論文」、「面接(修士論文または研究業績調書、研究(希望)計画書及び専門分野に関する口頭試問を含む)」および提出書類を総合して判定します。社会人特別選抜は、「英語」、「実務経験に基づいた小論文」、「面接(修士論文または研究業績調書、研究(希望)計画書に関する口頭試問を含む)」および提出書類を総合して判定します。外国人留学生特別選抜は、「英語」、「小論文」、「面接(語学試験を含む)」および提出書類を総合して判定します。

### 学生募集要項の請求方法

封筒の表に、「医学系研究科保健学専攻博士前期課程(あるいは博士後期課程)学生募集要項請求」と明記し、返信用封筒を同封の上、下記の請求先に郵送してください。なお、返信用封筒には角形2号(33cmx24cm)を使用し、配達先の郵便番号、住所、氏名を明記の上、切手400円分を貼ってください。

令和4年4月入学学生募集要項は既に発表されています。

### 請求・お問い合わせ先

山口大学医学部学務課大学院教務係  
〒755-8505 宇部市南小串1-1-1  
TEL: 0836-22-2058

山口大学大学院医学系研究科ホームページ  
<http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/graduate/>

募集要項請求の際にお知らせいただいた個人情報を募集要項送付以外の目的に使用することはありません。